

研究課題名	本邦集中治療室における早期リハビリテーション実施に関する横断的研究
研究機関名	広島大学病院、武蔵野赤十字病院(ほかにも本邦で合計20施設程度の参加を見込んでいるが、現在も参加施設募集中であり、列記は困難である。)
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴
研究期間	(西暦) 2017 年 9 月 ~ 2018 年 3 月
研究の意義・目的	国外におけるICUでの早期リハビリテーションに関して、その効果や安全性に関する報告は多くなされているが、本邦では、実際にICUで人工呼吸患者に対する早期リハビリテーションが実施されているのかは不明である。また、人工呼吸患者に対するせん妄とICU獲得性筋力低下予防を目的とした取り組みとしてABCDEFバンドルが提唱されているが、ABCDEFバンドルの各要素と早期リハビリテーションの実施状況やせん妄、ICU獲得性筋力低下との関連については明らかとなっていない。本研究の目的は、本邦ICUでの早期リハビリテーションの現状、およびABCDEFバンドルの各要素の実施状況と早期リハビリテーションの関連を明らかにすることである。
研究の方法 (対象期間含む)	本研究は、本邦ICUにおける人工呼吸患者の早期リハビリテーション実施の現状を明らかにするための横断的研究である。データ収集は各施設の担当者が実施する。データ収集項目は参加施設のICUの情報に関するもの15項目(別紙参照)と患者情報のICUでの早期リハビリテーションの実施状況と早期リハビリテーション実施に影響するもの23項目(別紙参照)である。患者情報に関するデータ収集は、データ収集日の午前8:00に参加施設のICUに在室したすべての患者の診療情報から収集する。データ収集日は2017年9月~2017年10月の中の無作為に抽出した平日3日間とし、3週間以上間隔を空けて設定する。研究期間は、解析に要する期間も含め、2017年9月~2018年3月を予定している。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①試料・情報は、本研究及び本研究のデータを用いた異なる研究以外の目的では使用しない。武蔵野赤十字病院における研究対象症例の対応表は、個人情報管理者(救命救急科 岸原 悠貴)が管理を行う。個人情報管理者は外部とは独立したPCで情報を管理し、PCにパスワードを設定し、セキュリティの厳重な部屋に保管することにより、情報の漏えいに対する安全策を講じる。データを解析する際には匿名化後のデータのみを扱うため、施設および個人を特定できる情報を含まない。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、施設および個人を特定できる形では公表しない。②データ収集項目は参加施設のICUの情報に関するもの15項目(別紙参照)と患者情報のICUでの早期リハビリテーションの実施状況と早期リハビリテーション実施に影響するもの23項目(別紙参照)である。③匿名化後のデータのみ、本研究の参加施設の研究参加者が利用する可能性がある。④救命救急科 岸原 悠貴
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525